

「科学の甲子園全国大会」へ

松本秀峰の生徒 1桁順位目標に



松本市の松本秀峰中等教育学校の生徒たちが、来年3月にさいたま市で開く「科学の甲子園全国大会」（科学技術振興機構主催）に出場する。全国大会出場は3年連続。生

徒たちは過去2回の大会で果たせなかった「1桁の順位」を目標に据えている。大会は高校、高等専門学校、中等教育学校の後期課程で学ぶ生徒が対象。理科、数学、

県大会で優勝した松本秀峰中等教育学校のメンバーたち

情報の計6科目の筆記と、複数分野にまたがる実技の総合得点で競う。全国大会には都道府県代表の47校が出場する。

22チームが出場して17日に松本市内で開いた県予選には同校の3チームが出場。小金平知哉さん(16)ら5年生(高校2年生相当)6人のチームが優勝した。全国大会は1チーム8人まで出場でき、チームを再編して臨む予定だ。

県予選前の準備では、全国大会を経験した先輩が朝夕に地学の講義をするなどして協力したという。同校の全国大会での成績は2016年度は28位、17年度は11位と順位を伸ばしており、小金平さんは「チーム力で補い合い、先輩たちの順位を越えるのが目標」と話している。